

令和3年度学校推薦型選抜 小論文課題

〔設問〕

次の文章を読んで、下線部について、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

自分が衰えていくことを予想する。他人に生活のすべてにわたって面倒を看てもらわなければならなくなった私を想像する——「そうなってまで生きたくない」と思う人は多いだろう。私は以前は確かにそう思っていたし、今でもそういう思いが心の中にないわけではない。ずっと元気できて、最後は寝たきりになったりしないでぽっくり逝きたいという願いに応えてくれるご利益があるという「ぽっくり寺」や、同じ思いを「ピンピンコロリ」と表現するごく普通の生活者の思いがある。確かに、元気で最後までいて、ぽっくり逝けたら良いだろう。だが、そうならなかったら駄目なのだろうか？寝たきりで過ごすことは不幸だろうか？「そんなふうになってまで生きたくない」という私の思い、あなたの思いは、「そんなふうになっても」 生きている人を切り捨てていないだろうか？

(中略)

訳が分からなくなった私はきっと自由なのだ 私が本当に訳が分からなくなって、妻のことも見分けられなくなって、訳の分からないことを口走り、崩れていく姿を想像する。訳がわかっている（と思うのだけれど）現在の私から見ると、無残な老醜を晒している姿を想像して、「いやあ、いくらなんでも嫌だよ」と思う。でも、それは、訳の分かっている（つもりの）現在の私から見てそうなのであって、本当に訳が分からなくなった私から見て悲しかったり、残酷だったりするわけではない。そういう価値評価から自由になって、私は訳の分からない世界を「俺は訳が分からなくなっているなあ」とも思わずに、生きていくのだろう。それはそれで良いじゃないか、と試してみよう。

【清水哲郎「高齢社会を生きる」（東信堂刊）より抜粋】